

ツクシヤワラシダ	<i>Thelypteris hattorii</i> (H.Itô) Tagawa var. <i>nemoralis</i> (Ching) Sa.Kurata	絶滅危惧Ⅱ類
		ヒメシダ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	夏緑性のシダ植物。根茎は這い葉は三角状長楕円形。葉柄や中軸の表面にのみ毛がある。葉柄の色は淡い緑色。	
生態的特徴	山地の林下のやや明るい場所に生育している。	
分布状況	岐阜県中部に点々と見られる。	
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化が主な要因と思われる。また一部の生育地は洪水で消失した。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理が必要である。	
特記事項	母種のヨコグラヒメワラビとほぼ同じ環境に見られる。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 213. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1997. 日本のシダ植物図鑑. 8. P.43. 東京大学出版会. 東京.	

文責：荻山恒弘